



中国: ヒト感染 A 型鳥インフル H7N9—WHO

全球流感资讯网 www.flu.org.cn 2016-11-20 10:43 来源: 世界卫生组织

感染症アウトブレイクニュース

2016年11月17日

中国国家衛生計生委は、2016年11月11日、新たに2名のヒト感染鳥インフルエンザ感染患者が実験室で確定診断されたと WHO に対し通報した（宮本注：基本的には11月12日の FIC 情報と同じですが、確信された日が11日ということは江蘇省衛生部門の発表日時から考えられず、11月11日になって、遅ればせながら『前月発見されていた患者に関する通報』がなされたとするのが正しいでしょう。また、二人とも重態とありますが、11月14日に中国衛生計生委が発表した10月度の患者発生情報では2名発症、1名死亡となっており、『中国衛生計生委から WHO 並びに香港 CHP に通報された内容はその時点で既に間違っていたと考えるのが正しい』と推量されます。).

症例の詳細

浙江省の77歳女性：2016年10月6日に症状が出現。患者は、発症前に活禽への暴露歴あり。報告に依れば患者は重態。（発症日に関する情報だけが追加されている）

江蘇省の89歳男性：2016年10月20日に症状が出現。患者は、活禽への暴露があったという記憶がないとのこと。報告に依れば患者は重態。（衛計委の感染症月報からはこの患者が死亡しているとも読み取れる）

2013年初からこれまでに、『国際衛生条約』により既に800人（12月12日の FIC 情報では777人とされており、この事実だけを見ても中国衛生計生委が報告を WHO に対してタイムリーに挙げないことの弊害が出ているように思われます。但し、8月23日付け FIC 情報では「2013年から『国際衛生規則 (IHR)』を通じて報告された患者数は、798人に上る」とあったので、それに基づけば、この二人をたせば800人となり、帳尻はあうのですが。とはいえ、個別に報道発表された患者数を追いつけている私には668人しか把握できていません）の H7N9 鳥インフルエンザ患者が実験室で確定診断通報されている。

公衆衛生の反応

中国政府は既に以下のモニタリング及び制御措置を講じている：

- モニタリングと評価分析の強化
- 患者治療のさらなる強化
- 公衆リスクコミュニケーションの展開

WHO リスク評価

多くの患者は、感染した家禽或いは活禽市場も含め汚染された環境を通じた H7N9 鳥インフルエンザウイルス暴露歴がある。このウイルスが動物や環境中に見つかっている中では更に多くの患者が見つかる可能性がある。衛生保健関係者の中で H7N9 鳥インフルエンザウイルスに感染するという小規模な患者の集中発生例が見られるが、これまでに掌握されている疫学及びウイルス学上のエビデンスから、ヒト間での持続的感染力はまだ獲得されていないとされているため、社会における更なる蔓延発生は殆ど無いであろうとされている。

ヒトが A 型 H7N9 鳥インフルエンザウイルスに感染するという事は日常的なことではないが、ウイルスの変異と/或いはヒトヒト間の感染性饒辺か状況を密接にモニタリングすることで、ヒトへのインパクトが大きくならぬようにチェックしてゆかねばならない。

WHO のアドバイス

WHO は、鳥インフルエンザが流行しているとされる国に渡航する人は、家禽の養殖場への接触や、活禽市場での動物との接触、或いは、家禽が屠殺されているような場所への立ち入り、家禽或いはその他の動物の糞便で汚染されたものへの接触を避けることが必要だとアドバイスしている。渡航者は、常に石鹼

と流水での手洗いを励行し、食品安全及び飲食の良好な衛生習慣を保たねばならない。

WHO は、入出国管理地点におけるこの関連での特別なスクリーニングの実施や渡航・貿易の制限措置採取を提案しない。これまで同様に、鳥インフルエンザが問題となっている地区やそれらの地から帰国した人にもし重篤な気道感染症の症状が現れた場合には鳥インフルエンザウイルスへの感染を考慮した診断をすることが必要である。

WHO は、重症急性呼吸器感染症 (SARI) や流感様症状 (ILI) 等に対するモニタリングの実施や異常なパターンのレビュー、『国際衛生条約 (2005)』に基づくヒトの感染症例通報の確保、また、国家的な衛生面での準備継続・展開を含め、各国が鳥インフルエンザのモニタリング強化を継続するよう症例している。

<http://www.flu.org.cn/scn/news-18737.html>

..... 以下は中国語原文

WHO：人感染甲型 H7N9 禽流感病毒-中国

全球流感资讯网 www.flu.org.cn 2016-11-20 10:43 来源：世界卫生组织

疾病暴发新闻

2016 年 11 月 17 日

中国国家卫生和计划生育委员会于 2016 年 11 月 11 日向世卫组织通报，新增两起人感染甲型 H7N9 禽流感病毒实验室确诊病例。

病例详情

一名住在浙江省的 77 岁女子于 2016 年 10 月 6 日出现症状。出现症状前病人具有与活禽接触史。据报告，病人病情严重。

一名住在江苏省的 89 岁男子于 2016 年 10 月 20 日出现症状。病人与活禽没有已知接触史。据报告，病人病情严重。

自 2013 年初以来，通过《国际卫生条例》报告途径共报告发生了 800 例人感染甲型 H7N9 禽流感病毒实验室确诊病例。

公共卫生反应

中国政府已采取下列监测和控制措施：

- 加强监测和评估分析。
- 进一步强化病人治疗。
- 开展公共风险沟通。

世卫组织风险评估

多数人间病例通过接触到受到感染的家禽或污染环境而与甲型 H7N9 禽流感病毒存有接触史，这包括活禽市场。只要该病毒在动物和环境不断被发现，预计就会出现更多人间病例。虽然曾在卫生保健工作者等人员中间报告发生过人感染甲型 H7N9 禽流感病毒小型聚集性病例，但目前掌握的流行病学和病毒学证据提示该病毒并未获得在人间出现持续性传播的能力。由此认为不太可能在社区层面进一步发生蔓延。

人感染甲型 H7N9 禽流感病毒属于非常事件，且应得到密切监测，以确定那些可能具有公共卫生严重影响的病毒本身和/或在人间的传播性变化情况。

世卫组织建议

世卫组织建议，前往已知发生禽流感疫情的国家旅行的人员应尽可能避免接触家禽养殖场，或避免与活禽市场中的动物接触，或避免进入可能宰杀家禽的场所，或避免接触看似受到家禽或其它动物粪便污染的任何表面。旅行者还应经常用肥皂和水洗手，并遵守良好的食品安全和饮食卫生习惯。

世卫组织并不建议在入境口岸针对这一事件实施特别筛查，也不建议目前采取任何旅行或者贸易限制措施。与以往一样，对于正在面临禽流感问题的地区旅行或刚从该地区返回的个人，在出现严重急性呼吸道症状情况下，应考虑作出禽流感病毒感染诊断。

世卫组织鼓励各国继续加强流感监测，包括对严重急性呼吸道感染 (SARI) 和流感样病症 (ILI) 实施监测并且

对任何异常情形进行认真审查，确保根据《国际卫生条例（2005）》通报人感染病例，并继续开展国家卫生防范行动。

相关链接：

<http://www.who.int/csr/don/17-november-2016-ah7n9-china/zh/>

20161120A 中国：ヒト感染 A 型鳥インフル H7N9—WHO